

井の頭恩賜公園花便り



センニンソウ(仙人草)

キンポウゲ科のつる性の半低木です。日本、中国、朝鮮半島の日当たりのよい山野に自生します。2～3cmの白い花が上を向いて多数咲きます。卵型の葉が枝の左右に3～7枚つきます。茎は長く伸び、枝分かれして繁殖し、つるが絡みつきます。多数の糸状の雄しべが目立ち、花が終わると雄しべの花柱が伸び銀白色の綿毛がつきます。その様子が仙人のひげや白髪を連想させることから名づけられました。



ツルボ(蔓穂)

キジカクシ科の球根植物で多年草です。日本、中国、朝鮮半島の山地や野原などに広く分布しています。8月～9月に茎の先端に小さな花が穂状に多数つき、花房の下から上に向かって順番に花が咲いていきます。咲き始めは薄いピンク色をしていますが、開花が進むと淡い紫色へと変わります。春には15cm～25cmの細長い線形の葉が多数出ますが、開花時には葉がなく茎だけのこともあります。



※花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所(Tel.0422-47-6900)までお問い合わせください。